岩国民報

発行所
日本共産党東部地区
岩国市委員会
岩国市山手町４－３－５
℡ ２２－２２４５

１ 月号

市議会議員
大西　明子
山田　泰之
藤本ひろし
古谷　清子

迎春

新年のご挨拶を申し上げます。

世界でも日本でも歴史の大きな変わり目に立っています。

岩国でも艦載機来るな、地方自治と民主主義を守ろうという大きな流れは、愛宕山に米軍住宅はいやだ、爆音訴訟へと発展しようとしています。

今年は衆議院選挙があります。共に力をあわせて新しい日本を、岩国をつくる為にがんばりましょう。

大西議員の一般質問

民間空港は歓迎しない

大西議員は、年次別空港需要では毎年需要が増える予測がされている。全国各地では、予測よりも大幅に利用客が減っているのが現実、なぜ岩国空港の需要予測が増えているのか質問。

国内空港旅客の需要予測指標に基づいて算定したと答弁。

二度あることは　三度ある

「二度あることは三度ある」とことわざにあるが、一つは基地沖合い移設事業、航空機の墜落の危険、爆音が減るということで、沖合い移設を進めた。私たちは基地拡大強化につながり、他の基地の呼び水になると反対しました。結果として厚木基地から艦載機が来て呼び水になりました。

二つ目は、愛宕山の開発です。これも新住法で５６００人１６００戸の住宅を建てる。私達はこれは過大な見積もりだ。必ず破綻して県民・市民に負担をかけると指摘し反対してきました。その通りになったではありませんか。

三つ目がこの民間空港です。経済界は七万人の署名があるといいます。今、市民にこの署名を行なったら七万人集まりますか。経済状況も空気も変わっています。米軍厚木基地の艦載機移転とリンクした民間空港再開に市民が歓迎するでしょうか。どうしてもやるなら経済界が出資をし、岩国市に負担はかけない。その決意がなかったら空港再開はやってはならないと質問。

空港整備基本計画
年次別空港需要

2012年	43万3400人
2015年	43万7900人
2020年	44万5200人

	予　測	利用客
佐賀空港	73万人	27万人
能登空港	31万人	17万人
三沢空港	49万人	32万人

山田議員の一般質問

国道１８８号バイパス急務

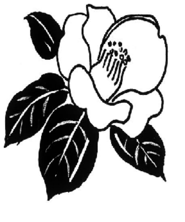
必要性は認識　財源確保　ハードルが高い

国道１８８号の渋滞は今に始まったことではない。30数年前から多くの住民、議員が渋滞対策を求めてきたが、議会答弁は「国道１８８号の慢性的な交通渋滞解消の為、南道路の南伸は大きな課題として早期に路線として指定されるよう最大限努力していく」と何度も答弁が繰り返されてきたが一向に前進が見られない。山田議員は、芸予地震（平成13年3月）の際、青木の弧線橋の処で陥没事故が起こり、通行不能になった事例も示し、又、仮に弧線橋が落下したら電車も運行不能になり完全に南北が遮断される。このような状況に置かれている国道１８８号の渋滞を解消させる為に一日も早く代替の道路・バイパスが急がれている。国土交通省に早急の実施を求めるよう迫りました。

答弁では「道路整備を行なうには安定的な多額の財源の確保が不可欠ですが、道路財源を取り巻く情勢は大変厳しい」「最新の需要推計などを基礎に新たな整備計画を策定する」「現在、国土交通省で見直し作業が行なわれている」としました。

山田議員は、財源問題を言われるが、住民が必要な道路は建設すべきだ。国土交通省に強く申し入れるよう求めました。

しんぶん赤旗
お読みください
日刊　月 2900円
日曜版　月 800円



中林よし子

岩国のみなさんに新春のご挨拶を申し上げます。

日本共産党の中国ブロックの議席を取り戻すチャンスの年が明けました。

艦載機来るな、愛宕山への米軍住宅反対のたたかいを、粘り強く進められている事にこころから敬意を表します。食の安全、農業再生、雇用を守るためにも頑張ります。ご支援をよろしくお願いします。

藤本議員の一般質問

雇用とくらしを守る問題、岩国市における非正規雇用を改善する。愛宕山跡地について米軍基地を巡る安心・安全対策について質問を行ないました。

官製ワーキングプアーを改めろ

アメリカ発の金融恐慌の影響で、自動車産業を中心にした非正規雇用労働者の解雇が横行し、解雇された労働者が寝る所もない深刻な状況に陥っている。

これはあいつぐ労働法制の改悪による労働者派遣事業法が、通訳とか26業種にしか認められていなかったのを自由化し、製造業にまで広げた結果だ。新自由主義に基づく構造改革と無制限な規制緩和にあることを指摘しました。

政府の調査でも全労働者の中に占める非正規労働者の比率が極端に高まり34％を超え、年収２００万円に満たない労働者が一千万人を突破し「働く貧困層」の増大、貧富の格差が広がっている。

ところが市民の生命と福祉を守る地方自治体が、官製のワーキングプアー政策を進め、岩国市の全職員二、一六五人中、臨時か嘱託など非正規職員が七二七人と34％という状況である。月収は9万円から11万円という最低賃金制ギリギリの状況ではまともに結婚して子どもを育てられない。社会そのものも再生産が出来ない。

特に保育園では約半数、学校給食現場では24校と3給食センターには96人中52人が非正規職員である。こうした正規職員を非正規職員に置きかえるのはやめて非正規職員の労働条件の改善を求めました。

私の質問に対して岩国市は今後合併協議での10年間で約３００人の正規職員の削減を行なうが非正規職員の増ではなく、事務の見直しで対応するとしました。

古谷議員の一般質問

総合支所ごとに特色のある敬老会を

敬老会行事は、それぞれの地域で色々なやり方で取り組まれてきていたが、合併協議の中で「地域の実情を考慮しながら随時調整する。三年以内の調整を目指す」とあった。

ある地域では、今までは、やむをえず欠席した場合でも代理の人に記念品が渡されていたが、今年からは、出席した人のみとなってしまった。こうした敬老会のあり方に不信の声がでている。

75才以上になると、身体のあちこちに不具合がでるのは当然である。出席したくてもでられない人が大勢であり、出席者数より欠席者数が大幅に上回っているのが現状だ。

敬老会とは敬う老人の会であるのであれば、元気に出席した人のみを、お祝いするというのは本来の敬老会ではないと思う。

このような冷たいやり方に対して、周東、由宇の住民の方から市長に要望書も出されていると聞いている。

今までの歴史や経緯もある。何でも旧岩国市にあわす必要はない。特色を活かしたやり方でいいのではないか。

答弁　合併により統一的に行なう方向ではあるが、当分の間は、現行通りとし、地域の実情に応じて行なう方針である。

下水道料金　値上げ反対

古谷議員が反対討論

下水道料金(基本料・一般家庭10立方メートル当たり）は合併前の料金　旧岩国市1ヶ月当たり1169円、旧由宇町1365円、旧玖珂・周東町1312円、旧錦町1500円とバラバラな状態でした。

これを全市統一するということで旧由宇町の一ヶ月当たり1365円の料金にする案に対して、日本共産党市議団は、旧岩国市が一番人口が多く値上げになる。1

景気の厳しい今値上げすべきではないと反対しました。

軽油価格の適正化を求める意見書　全会一致で可決

西村議員の辞職勧告決議

元美和町長の西村議員が公文書偽造で有罪が確定し、条例に基づき退職金約１４００万円を返納しないばかりか、反対に岩国市を訴えているのは不当として全会一致で可決しました。

日本共産党市議団などが提出した雇用対策、教育福祉の充実強化を求める意見書は公明党と一部保守の反対で一票差で否決されました。